

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	4160	(H.24)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	総合体育館バリアフリー整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	市民スポーツ室	合田 卓也	

会計区分	事業コード	523501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	総合体育館バリアフリー整備事業	
項 保険体育費	(小事業名)	
目 体育施設費	総合体育館バリアフリー整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	2	生活環境・健康づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
総合体育館のエントランスをバリアフリー化することにより、障がい者や高齢者のアクセスを容易にするとともに、体育館内のトイレの洋式化により利便性の向上を図る。
事業内容
総合体育館のエントランスへのスロープ設置及び入り口の一部の自動扉設置。 事務所窓口カウンターの高さ変更。 男性トイレ和式便座3基中1基、女性用トイレ和式便座11基中4基を洋式化に改修工事を施工。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	総合体育館バリアフリー整備事業 設計委託料 441千円 工事費 5,980千円				

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	6,421千円				
内訳(千円)					
国・県支出金	6,420				
地方債					
その他()					
一般財源	(0)	1	0	0	0
人工数					
職員	0.02人				
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 154千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 6,575千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
総合体育館のバリアフリー化施工により、車椅子利用者の事務所側からの出入りが可能となり、窓口へのアプローチが容易になった。また、トイレの洋式便座の増加により利用者の要望に対応できた。	総合体育館のバリアフリー化を積極的に導入し、誰でも利用できる体育館としての機能を充実することができた。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	総合体育館の事務所側入り口のスロープ及び自動扉設置により、体育館への入退場の利便性が向上した。また、トイレの洋式化により、利用者のニーズに対応できた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	名張市身体障害者互助会に現地での使用に際しての意見を聞き、工事施工に生かすことができた。今後もバリアフリー化に向けた施設整備を関係者とともにより積極的に進めていきたい。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画